＜様式１＞

平成 27年 05月 21日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	酒田森林環境循環型住宅
グループの名称	さかた「すぎの子」会
直近採択グループ番号 ※過去に地域型ブランド化事業で採択を受けたグループは記入	04-0455-0075

（グループ代表者）

代表者名	大井　勝喜　代表者印
代表者所属先	株式会社　大井工務店
代表者構成員番号	Ⅴ-1, Ⅵ-1
代表者所在地	山形県酒田市みずほ1-21-11
代表者電話番号	0234-22-2262

（グループ事務局）

事務局事業者名	株式会社　大井工務店
事務局構成員番号	Ⅴ-1, Ⅵ-1
事務局担当者名	加藤　桂　印
事務局郵便番号	998-0853
事務局所在地	山形県酒田市みずほ1-21-11
事務局電話番号	0234-22-2262
事務局FAX	0234-22-2263
事務局担当者E-mail	ooi@ooi-koumuten.jp

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	酒田森林環境循環型住宅
２．グループの名称(必須)	さかた「すぎの子」会
３．直近採択グループ番号(必須)	04-0455-0075
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	山形県内
５．結成年(必須)	2011　年
６．グループ代表者名(必須)	大井　勝喜
７．グループ代表者の所属先(必須)	株式会社　大井工務店
８．グループ代表者の構成員番号(必須)	Ⅴ-1, Ⅵ-1
９．グループ代表者所在地(必須)	山形県酒田市みずほ1-21-11
１０．グループ代表者電話番号(必須)	0234-22-2262
１１．グループ事務局事業者名(必須)	株式会社　大井工務店
１２．グループ事務局の構成員番号(必須)	Ⅴ-1, Ⅵ-1
１３．グループ事務局担当者名(必須)	加藤　桂
１４．グループ事務局郵便番号(必須)	998-0853
１５．グループ事務局所在地(必須)	山形県酒田市みずほ1-21-11
１６．グループ事務局電話番号(必須)	0234-22-2262
１７．グループ事務局FAX番号(必須)	0234-22-2263
１８．グループ事務局担当者E-mail(必須)	ooi@ooi-koumuten.jp

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ. 原木供給	1	
Ⅱ. 製材・集成材製造・合板製造	2	
Ⅲ. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	0	木材を扱う事業者と取引がないため
Ⅳ. プレカット	1	
Ⅴ. 設計	2	
Ⅵ. 施工	5	
Ⅶ. 省エネルギー設備等の流通	0	
Ⅷ. 木材を扱わない流通	1	
Ⅸ. Ⅰ～Ⅷ以外の業種	0	

A．使用する地域材に関する事項　(必須)

対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の①、②、③の番号を番号記入欄に記入してください。 ①都道府県の産地認証制度等によるもの ②民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) ③林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの	番号記入欄	国内・国外
酒田杉	山形県	県産木材「やまがたの木」認証制度	1	国内

B. 平成27年度における補助対象の木造住宅の申請戸数及び地域材加算申請戸数　(必須)

長寿命型（長期優良住宅） 経験工務店＋未経験工務店の合計	27	戸				地域材加算合計	22 戸
うち経験工務店による長期優良住宅　合計	20	戸	うち未経験工務店による長期優良住宅　合計	7	戸		
うち申請が確実	10	戸	うち申請が確実	2	戸	地域材加算（うち申請が確実）	11 戸
うち申請が未確定	10	戸	うち申請が未確定	5	戸	地域材加算（うち申請が未確定）	11 戸
高度省エネ型（認定低炭素住宅）　合計	6	戸	地域材加算合計	6	戸		
うち申請が確実	1	戸	地域材加算（うち申請が確実）	1	戸		
うち申請が未確定	5	戸	地域材加算（うち申請が未確定）	5	戸		
高度省エネ型（ゼロ・エネルギー住宅）　合計	7	戸	地域材加算合計	7	戸		
うち申請が確実	2	戸	地域材加算（うち申請が確実）	2	戸		
うち申請が未確定	5	戸	地域材加算（うち申請が未確定）	5	戸		

C．平成２７年度における補助対象の優良建築物の申請棟数及び床面積(優良建築物を供給するグループのみ必須)

優良建築物				
うち申請が確実	2	棟	231	㎡
うち申請が未確定	10	棟	1156	㎡

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール　(必須)

補助事業へ参加を希望する工務店全社に最低1戸を配分し、その上でこれまで長期優良住宅への取り組み実績が少ない工務店や受注が確実視されている工務店に優先的に配分していく。

E. 平成26年度の執行状況
(H26年度地域型ブランド化事業採択グループのみ必須)

長期優良住宅				完了実績見込み		
採択戸数	4	戸	交付申請戸数	4 戸	竣工済	1 戸
					竣工予定	3 戸
木造建築物						
採択棟数		棟	採択床面積	㎡		

＜様式 2-2・Ⅰ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
6	Ⅰ － 3	荒生木材　有限会社		999-8215	山形県酒田市大蕨字後口山3	0234-64-3975
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					

＜様式 2-2・Ⅱ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
6	Ⅱ － 4	升川製材　株式会社		998-0005	山形県酒田市宮海字明治99-5	0234-34-2221
6	Ⅱ － 5	有限会社　一條製材所		999-8232	山形県酒田市市条字畑ケ中13	0234-64-2008
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					

＜様式 2-2・Ⅲ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由
木材を扱う事業者と取引がないため

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞ Ⅳ．プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅳ＞

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ．プレカット						
15	Ⅳ － 6	山北木材加工協同組合		959-3936	新潟県村上市北赤谷154-1	0254-77-3983
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					

＜様式 2-2・Ｖ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ｖ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ｖ．設計							○	○
6	Ｖ － 1	株式会社 大井工務店		998-0853	山形県酒田市みずほ1-21-11	0234-22-2262		
6	Ｖ － 7	有限会社 池澤工務店		998-0029	山形県酒田市住吉町13-25	0234-33-3231		
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工-1（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）							○	○
6	Ⅵ - 1	株式会社 大井工務店		998-0853	山形県酒田市みずほ1-21-11	0234-22-2262	○	
6	Ⅵ - 7	有限会社 池澤工務店		998-0029	山形県酒田市住吉町13-25	0234-33-3231	○	
6	Ⅵ - 8	佐藤建業		998-0111	山形県酒田市黒森字草刈谷地117-15	0234-92-3171	○	
6	Ⅵ - 9	本田建築		998-0811	山形県酒田市手蔵田字蔵南43-1	0234-24-4782	○	
6	Ⅵ - 10	近藤建築		998-0028	山形県酒田市北里町5-2	0234-23-6096	○	
	Ⅵ -							
	Ⅵ -							
	Ⅵ -							
	Ⅵ -							
	Ⅵ -							
	Ⅵ -							
	Ⅵ -							
	Ⅵ -							
	Ⅵ -							
	Ⅵ -							
	Ⅵ -							
	Ⅵ -							
	Ⅵ -							
	Ⅵ -							
	Ⅵ -							
	Ⅵ -							
	Ⅵ -							
	Ⅵ -							
	Ⅵ -							
	Ⅵ -							
	Ⅵ -							
	Ⅵ -							
	Ⅵ -							
	Ⅵ -							
	Ⅵ -							
	Ⅵ -							
	Ⅵ -							
	Ⅵ -							
	Ⅵ -							
	Ⅵ -							
	Ⅵ -							
	Ⅵ -							
	Ⅵ -							
	Ⅵ -							
	Ⅵ -							
	Ⅵ -							
	Ⅵ -							
	Ⅵ -							
	Ⅵ -							
	Ⅵ -							
	Ⅵ -							
	Ⅵ -							
	Ⅵ -							
	Ⅵ -							
	Ⅵ -							
	Ⅵ -							
	Ⅵ -							
	Ⅵ -							
	Ⅵ -							
	Ⅵ -							
	Ⅵ -							
	Ⅵ -							

<グループ構成員記入用リスト>Ⅵ. 施工－2（長寿命型）

<様式 2-2・Ⅵ-2>

県番号	構成員番号	事業者名	平成26年（1月～12月）実績				補助金の活用実績	被災地に該当
Ⅵ. 施工-2（長寿命型）			元請の新築住宅供給戸数		うち木造の長期優良住宅			
			H26年実績	直近3年平均	H26年実績	直近3年平均	○	○
6	Ⅵ － 1	株式会社 大井工務店	14 戸	16 戸	4 戸	4 戸	○	
6	Ⅵ － 7	有限会社 池澤工務店	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸		
6	Ⅵ － 8	佐藤建業	2 戸	1 戸	0 戸	0 戸		
6	Ⅵ － 9	本田建築	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸		
6	Ⅵ － 10	近藤建築	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		

県番号	構成員番号	事業者名	平成26年（1月～12月）実績						補助金の活用実績	被災地に該当
Ⅵ. 施工−3（高度省エネ型）			元請の新築住宅供給戸数		うち木造認定低炭素住宅		うち木造ゼロエネ住宅			
			H26年実績	直近3年平均	H26年実績	直近3年平均	H26年実績	直近3年平均	○	○
6	Ⅵ － 1	株式会社 大井工務店	14 戸	16 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	○	
6	Ⅵ － 7	有限会社 池澤工務店	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸		
6	Ⅵ － 8	佐藤建業	2 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸		
6	Ⅵ － 9	本田建築	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸		
6	Ⅵ － 10	近藤建築	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		

<グループ構成員記入用リスト>Ⅵ．施工－４（優良建築物用）

<様式 2-2・Ⅵ-4>

県番号	構成員番号	事業者名	平成26年（1月～12月）実績						補助金の活用実績
Ⅵ．施工-4（優良建築物）			元請の新築住宅供給戸数		うち木造の長期優良住宅		着工床面積		
			H26年実績	直近3年平均	H26年実績	直近3年平均	H26年実績	直近3年平均	○
6	Ⅵ － 1	株式会社 大井工務店	14 戸	16 戸	4 戸	4 戸	㎡	㎡	
6	Ⅵ － 7	有限会社 池澤工務店	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	
6	Ⅵ － 8	佐藤建業	2 戸	1 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	
6	Ⅵ － 9	本田建築	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	
6	Ⅵ － 10	近藤建築	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	

<グループ構成員記入用リスト>Ⅶ. 省エネルギー設備等の流通

<様式 2-2・Ⅶ>

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 省エネルギー設備等の流通						
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					

<グループ構成員記入用リスト>Ⅷ. 木材を扱わない流通

<様式 2-2・Ⅷ>

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ. 木材を扱わない流通						
6	Ⅷ － 11	金屋 株式会社		997-0048	山形県鶴岡市平京田字屋敷廻1-4	0234-22-0002
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅸ．Ⅰ～Ⅷ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

＜様式 2-2・Ⅸ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅸ．Ⅰ～Ⅷ以外の業種						
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞　　＜様式３－１＞

1. 地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）酒田森林環境循環型住宅	（地域型住宅供給対象地域）山形県内
2. グループの名称・結成年（必須）	（グループの名称）さかた「すぎの子」会	（結成年）2011 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	04-0455-0075	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅）の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成27年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	○寒冷な気候であるため他地域のスギに比べ目が詰まっており、比較的高い強度の良質なスギ人工林を保有している為、この地域特性への対応を前提として、雪と地震に強い家の取り組みを行う。 ○積雪荷重を考慮し、スパン表ではなく許容応力度計算による構造等級2以上の確保を実施していく ○地域的に海岸に近い地域なので強風の風の日が多いので、耐風等級2を目安に耐震・耐風計算を行う ○次世代省エネ基準を満たした冬暖かく、夏涼しい健康にやさしい住宅を目標とする	○
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	○品質の明確な県産材を使用し、高品質の乾燥木材を利用した、自然の木の香りやぬくもりを感じてもらえる家づくりを目指す ○山形県産材認証制度によって産地証明のなされた地域材を、主要構造材（柱・梁・桁）・羽柄材に使用する ○2次部材（母屋・垂木・棟木・小屋束・火打材・根太・間柱）に関しても地域材を使用していく ○主要構造材（土台）2次部材（大引）に対しては劣化の軽減をするための対策として、耐久性の高い樹種の国産桧材を使用する ○グループで指定する地域材を主要構造部に60%以上使用する	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	○内部外部無垢の木材を使用するときは、国内の全地域を対象とした質の高い無垢材（杉・桧・松）を使用していくことで、地域の経済に貢献出来れば良いと思います	◎
④ ①～③の背景	○さかた「すぎの子」会による、酒田森林環境循環型住宅の認定書（認定番号・木材供給業者・使用木材量を明記）の発行をする事により、使用した建築主様に感謝をして自ら森林の環境に貢献したことを評価して認定書を提示していく	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	○広報活動の強化と、さかた「すぎの子」会の認知度向上に向けた取り組みを行う ○チラシやWEBサイトなどで、地域型住宅の特徴を記載したものを作成し、認知度向上に向けた取り組みを行う	○

イ. 効率的な住宅生産体制の整備

【平成27年度対応方針】			◎、○記入欄
a	①用材の寸法規格化や建材の統一、標準仕様の設定	○グループ内での木材の寸法を統一して標準化して発注の経費をなるべく無くす ○構成員の研修会や、連絡会等随時開催して情報の共有化を目指す	○
	②建材・資材調達の共同化や事務の合理化	○グループを代表として共同資材購入していく事で経費の効率化を図る	○
	③生産の合理化等に向けた委員会等の検討実施体制	○設計グループを中心とした設計仕様委員会の設置と、仕様説明会の実施 ○未経験工務店の不安・疑問に対処する座談会形式の勉強会の実施	○
	④生産の合理化等に向けた事務局の役割	○事務局を中心として、未経験構成員のサポートを実施 ○提案方法から設計・施工までのアドバイスが可能な体制を整える	○
b.	①グループの信頼性向上に向けた施工基準の整備	○施工基準の整備と、技術の向上に向けて現場見学を実施 ○施工技術の均一化を図り、消費者へアピールすることでグループの信頼性向上に努める	○
	②グループの信頼性向上に向けた検査ルールの設定	○グループが提携する株式会社日本住宅保証検査機構に検査を任せ、検査項目の適正化したルールを作り説明文書に変えお客様に提供していく	○
	③グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール化	○標準見積書を使用して、施主へ住宅コストの適正な提示、説明の義務化 ○グループで木材を共同購入して価格を統一して経費の省力化をはかる	○
	④グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	○受注から維持管理までのハンドブック（施主様向けと事業者向け）の作成と、それによる普及啓発活動	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞　　＜様式３－２＞

1. 地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）酒田森林環境循環型住宅	（地域型住宅供給対象地域）山形県内
2. グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）さかた「すぎの子」会	（結成年）2011 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	04-0455-0075	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成27年度対応方針】			◎、○記入欄
a	①住宅履歴情報の共通管理診断・点検方法の共通化	○住宅履歴情報の蓄積の義務化 ○点検内容、管理方針を明確にする ○点検実施に関する報告書の作成 ○グループ共通の維持保全計画書の作成と活用 ○点検実施に関する報告書の作成と、維持管理	○
	②メンテナンス・リフォーム基準の整備	○住宅のお手入れマニュアル「住まいのお手入れガイド」を使用した施主様によるメンテナンスの実施 ○定期点検を定期的に行い定期的にメンテナンスを行っていく	○
	③住まいの管理・DIY相談会体験会などの実施	○住宅のお手入れマニュアルの作成と、消費者を対象とした相談会・体験会の実施	○
	④グループ内における維持管理検討委員会等の設置	○事務局を中心に委員会等を設置し、共通の維持管理計画書を作成する ○グループ共通の維持管理計画を立案企画し同じ維持管理表を作って提案していく	○
b	①グループ構成員の倒産廃業時のバックアップ体制	○グループ全体で信頼確保のため施主様への明確な説明を徹底のうえ、他の構成員によるバックアップ体制による施工・維持保全を対応していく	○
	②グループ独自の瑕疵担保ルールの整備	○住宅瑕疵担保責任保険会社に基本的なルールを提案してもらい、グループ内での勉強会で説明してルール化していく	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

エ. グループの技術力の向上

【平成27年度対応方針】			◎、○記入欄
a	①未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	○経験メンバーを中心として現場見学会・木材乾燥施設の見学を行い技術向上に役立てる ○すでに取得実績がある構成員が未経験者のサポートを行う ○仕様説明会、設計・施工に関する勉強会も積極的に行う	○
	② ①の研修会等の実施内容とその開催頻度	○実際の施工現場にて、年2回程度勉強会を開催 ○事務局が中心になり、グループメンバーで仕様説明会、設計・施工に関する勉強会を行う	○
	③総合的な需給計画の策定等の中長期的な取組	○若手大工の育成をしていくとともに、職人ひとりひとりの技術レベルを上げるため、公的な講習会に参加 ○第三者機関を交えて、広報活動の実施をしていく ○職人の技術向上を図るうえでグループ内での交流を行い、現場での技術力の均等化を進めていく	○
	④ ③に基づく業種ごとの合理化への取組	○事務局が中心となり、研修会参加の管理 ○長期優良住宅の仕様説明会、設計・性能評価研修会への参加義務付け	○
b	①省エネ技術講習会への参加目標人数	○省エネ技術講習会の参加については、各グループ代表全員参加すること ○施工技術者に対しては講習日の日程を合わせながら全員参加を目標とする	○
	②省エネ技術講習会への参加促進のための取組	○グループ内での省エネ住宅見学会を積極的に行い参加を促す	○
c	①新たな技術等の導入や開発の検証のための方法		
	②新たな技術等の導入や開発に向けた実証実験の実施等		
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞　　＜様式３－３＞

1. 地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）酒田森林環境循環型住宅	（地域型住宅供給対象地域）山形県内
2. グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）さかた「すぎの子」会	（結成年）2011 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	04-0455-0075	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成27年度対応方針】			◎、○記入欄
a	①地域材ごとの使用部位（必須）	○主要構造部、使用材料について土台は国産材桧を使用 ○柱に関しては地域材酒田杉を使用 ○梁に関してもなるべく地域材酒田杉を使用し、構造的に強度が必要な時は米松KD材を使用する ○桁は構造的に力が掛る部分は米松KDとし、それ以外は地域材酒田杉を使用する	◎
	②地域材ごとの1棟当たりの使用量とその占める割合（必須）	○主要構造材の全般に使用する地域材は酒田杉を使用 ○羽柄材も地域材酒田杉を使用し全体の１棟当り使用量は60%以上使用すようにする	◎
	地域材利用に関する共通ルール（必須）	○主要構造部に関しては地域材を使用、部位によっては酒田杉で乾燥したKD材を使用する事にする ○それ以外は乾燥していないGR材を使用しても良いものとする	◎
	地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明	○グループ内に地域材の流れが良くわかるフロー図を作成して各グループに配布する	
b	①地域材の在庫量や価格情報を把握・共有のための仕組	○グループ代表が月一度木材供給会社に在庫量の確認と価格情報を聞き、データー化することによって、各グループから問い合わせが合った時に対応できるようにしておく	○
	②グループ全体における地域材の需給予測	グループ全体での地域材は構造材・羽柄材合わせて2200m3以上を使用する	○
c	①-1 畳の活用		
	①-2 和瓦の活用		
	①-3 襖の活用		
	①-4 障子の活用		
	②その他地域の伝統的な素材や意匠の活用		
d	①地域の伝統的なデザインを継承する取組	○外部化粧垂木、幕板、化粧桁等、内部床、壁、天井、木部部分に地域材の杉を使用し、仕上げ材杉板等は国産杉を使用し伝統的な技能と一緒に継承していく	○
	②地域の住まい方の継承につながる取組		
	③地域の街並み形成へ寄与する取組		
	④和の住まいの要素を取入れた取組		
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

その他

【平成27年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組		

グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物型の性能や特徴等について記入してください。

○認定低炭素住宅、ゼロ・エネルギー住宅、に関して住宅の構造としては在来工法木造作りとし、平成25年省エネ基準一次エネルギー消費量算定方法に準じた評価方法を原則として作っていく
○地域材を加工な限り使用していくことで、地域の森林の活性化につながり二酸化炭素の排出を抑え環境に貢献できる住宅を作っていくことで特徴を出している
○「エネルギー消費量」が0以下、「エネルギー削減率（R）」が100%以上となることで、概ねゼロを達成する

※） 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。